

2005年10月20日

報道関係各位

増加する「火」を使用した犯罪対策に／散布されたガソリンの着火・爆発を抑える
爆発抑制泡弾を開発

～金融機関、コンビニエンスストア、ガソリンスタンド、警備会社などを対象に販売を開始～

消防車の開発・製造・販売を手がける株式会社モリタ(本社:大阪・東京、代表取締役会長兼社長:新村鋭男、東証・大証 1 部)は、滋賀県警察本部と共同で、引火性液体(ガソリン等)の爆発を抑制する手投げ式爆発抑制泡弾を開発。本年 10 月より、爆発抑制泡弾(1 セット 9 本/22,500 円)として販売を開始いたします。

現在、火災の発生原因は、多くは放火犯罪が占めています。(消防白書16年版 放火による火災が7年連続して1位) また、金融機関など押し入る強盗事件においても、ガソリン等の引火性液体を所持して立てこもるケースが多発。今後もテロなどを含め「火」を使用した犯罪への対策が急務となっています。

爆発抑制泡弾は、故意に撒かれたガソリンなどの引火性液体に対して投げつけて使用します。容器が床面等にたたきつけられた衝撃で割れ、内部の燃焼抑制剤が散布され引火性液体を覆います。これにより可燃性蒸気の発生を抑え、着火やそれに続く爆発を防ぎます。ポリスチレン製の容器の形状は、緊急的な状況でも掴みやすかつ、投げやすいようフラスコ型に成形。また、カーペットなど柔らかい床に引火性液体が撒かれた場合を想定し、内部にガラス玉を入れ、容器が割れやすくしています。燃焼抑制剤は、コンビナート等に配備されている専用消火薬剤をベースに改良を加え新たに開発したものであり、万一着火してしまった場合には消火剤としても使用可能です。

モリタでは、主に金融機関、コンビニエンスストア、ガソリンスタンド、警備会社などを対象に販売。初年度 4 億円の売り上げを目標にしています。当製品の特長及び概要は以下のとおりです。



本件に関するお問い合わせ先
株式会社モリタ 広報室 浦野 TEL.03-5777-5088

爆発抑制泡弾の特長及び概要

記

爆発抑制泡弾の特長

犯罪等の現場で散布された引火性液体(ガソリン等)の着火・爆発を抑制

発生の増加が予想されるガソリン等の引火性液体を使用した犯罪に対する常設装備のひとつとして開発いたしました。液状の燃焼抑制剤を扱いやすいよう独自開発したポリスチレン製容器内に収納。標的に投げつけ砕けることで散布された燃焼抑制剤が引火性液体を覆い、気化を抑えて着火や爆発を防ぎます。

緊急時に扱いやすいフラスコ状の形状

犯罪の発生などの緊急時、標的である引火性液体の撒かれた床面などに投げやすいよう、容器部と把持部を備えるフラスコ型に成型しました。把握部を持って使用することで容器を確実に割る、叩きつけるような投擲や遠くの標的に対する遠投が可能です。また、カーペットなど柔らかい床に引火性液体が撒かれた場合を想定し、内部にガラス玉を入れることで容器が割れやすいようになっています。

最も使用しやすいサイズ

緊急時に扱いやすいよう 1 本のサイズを、容積 280ml・全質量 180g として開発しました。中に入れられた 140 ml の燃焼抑制剤は、約 2 倍の引火性液体の着火抑制に効果を持ちますので、一般的なペットボトルの最大量である 2 リットルの引火性液体に対し 1 セット 9 本を使用することで着火や爆発を抑制することが可能です。

爆発抑制泡弾の概要

商品名:	爆発抑制泡弾
価格:	22,500 円(1 セット 9 本・消費税込み)
容器仕様:	ポリスチレン容器 容積 280ml、破損促進ガラス玉 2 ヶ入り 薬剤量: 140ml 全質量: 180g
薬剤組成:	フッ素系界面活性剤 / 炭化水素系両面活性剤 / 高級アルコール系溶剤 / 食品添加物用着色剤 / 水

以上